

研究協力のお願ひ

この度、本学において下記の内容にて観察研究を行うことになりました。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願ひ致します。

大阪医科薬科大学

口腔外科学教室

記

研究課題名：口腔衛生管理が全身状態に及ぼす影響の評価

研究の目的：患者さんにとってより効果的な口腔衛生管理を行うために、口腔衛生管理の全身状態に及ぼす影響を評価し、検証します。

研究の意義：近年、口腔疾患、特に歯周病やう蝕が全身疾患と関連していることが様々な研究報告から明らかとなってきました。臨床的に糖尿病、動脈硬化、循環器疾患、悪性腫瘍などの全身疾患を有する患者および透析患者さんに対して口腔衛生管理を行うことは、それらの病態を改善する可能性があります、詳しくはわかりません。

研究の対象：2016年4月から2025年3月1日までに大阪医科薬科大学病院 歯科口腔外科および金沢医科大学病院 歯科口腔科の外来に院内各科から紹介受診された患者さん

研究の方法：大阪医科薬科大学病院 歯科口腔外科および金沢医科大学病院 歯科口腔科にて口腔衛生管理を行った前後の全身状態の情報をカルテから抽出し、その効果を解析します。

研究期間：2020年3月20日～2028年6月30日

個人情報の内容およびその利用目的、開示等の求めに応じる手続き：患者さんのデータは匿名化したうえで取り扱います。患者さんの個人情報の取り扱いについては、十分に注意を行い、論文投稿や学会発表等では、個人情報が特定されないようにします。また、対象者の方より個人情報の開示の求めがあった場合は、すみやかに開示を行います。

個人情報の取り扱いに関する相談窓口：大阪医科薬科大学 口腔外科学教室

担当：小越 菜保子

利益相反について：本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保していることを社会に適切に説明するため、本研究は、本学の利益相反マネジメント規程に則して、実施されております。当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えします。

研究者名：研究責任者 大阪医科薬科大学 口腔外科学 助教 小越 菜保子

研究分担者 大阪医科薬科大学 口腔外科学 助教 大森 実知

共同研究機関

研究責任者 金沢医科大学 顎口腔外科学 特任教授 中野 旬之

対象者の方（その代理人）の申し出により、他の対象者の方の個人情報保護や当該臨床研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、当該臨床研究計画及び当該臨床研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できます。

本研究にて取得しました情報は、厳重な管理を行い、当該研究以外の目的では利用いたしません。

ご自身の既存情報を研究に使用させて頂くことに対して同意頂けない場合は、下記の申し出先までご連絡ください(対象者の代理人からの申し出も受付いたします)。申し出をされた場合は、当該研究への利用はいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、データを研究結果から削除することができかねますので、予めご了承ください。

問い合わせ、参加拒否の申し出先：〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学病院 歯科口腔外科外来

担当：小越 菜保子

TEL 072-683-1221(代表) 内線 2338